

## 第6次綾部市総合計画前期基本計画 進捗を共有する指標の状況（令和6年度）

綾部市では、「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち…綾部」を将来都市像とする第6次綾部市総合計画を策定し、その実現のため各種施策の推進に努めています。

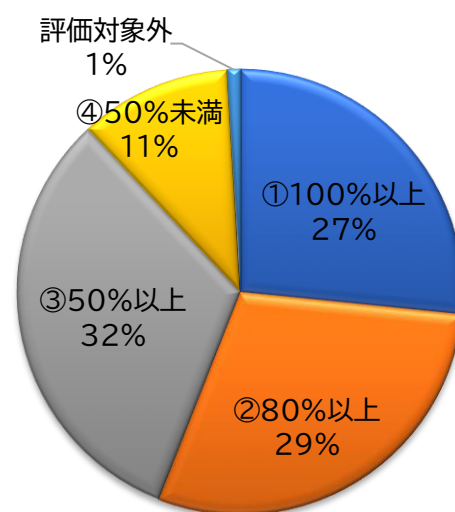
令和3年度から5か年を計画期間とする前期基本計画において、施策の進捗を市民と共有する109項目の指標を定め、その進捗状況を毎年度確認しながら達成に向けた取組を進めていくこととしています。

前期基本計画期間の4年を経過した令和6年度の指標の進捗状況ととりまとめましたのでお知らせします。

### （1）進捗を共有する指標の結果

令和6年度における全109項目の進捗を共有する指標の目標値に対する実績値の比率について、100%以上が29項目（27%）、80～100%未満が32項目（29%）、50～80%未満が35項目（32%）、50%未満が12項目（11%）となりました。

令和7年度までの前期5か年において、指標の実績を確認する中で、PDCAサイクルを回し、計画に基づく各施策を推進します。



### 章別の進捗を共有する指標の状況

章／進捗率	100%以上	80～100%未満	50～80%未満	50%未満	評価対象外	総計
1章	4	6	8	2	0	20
2章	6	3	2	1	0	12
3章	3	8	8	1	0	20
4章	5	6	8	2	0	21
5章	8	4	7	5	0	24
6章	3	5	2	1	1	12
総計	29	32	35	12	1	109
割合	26.6%	29.4%	32.1%	11.0%	0.9%	

（単位：項目）

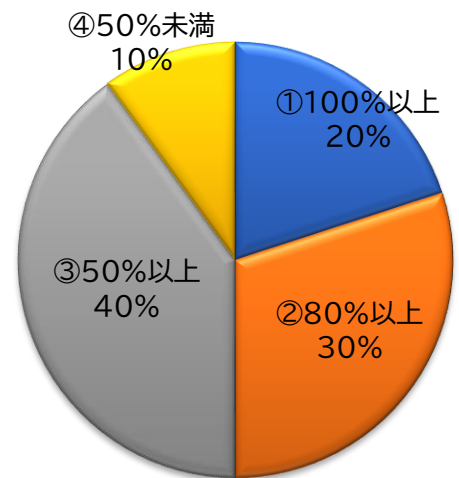
## （２）各章ごとの取組結果

### 第１章 平和をねがい、祈りのあるまち

○この章では、人権尊重社会の実現、平和の発信と国際交流、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、生活の安全性の向上について、計画を定めています。

○20 項目のうち4 項目（20％）が 100％以上、6 項目（30％）が 80～100％未満となっています。

- ・人権福祉センター各種講座参加者数  
3,880 人（目標 4,500 人）86.2％
- ・避難行動タイムライン作成組織数  
56 組織（目標 21 組織）266.7％
- ・交通安全啓発活動参加者数  
767 人（目標 650 人）118.0％

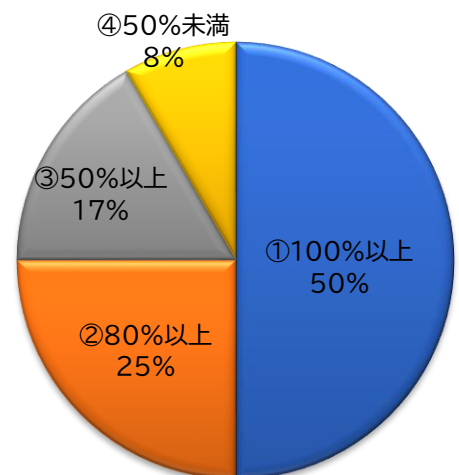


### 第２章 自治を高め、心のつながりのあるまち

○この章では、市民活動の促進と地域の活性化、男女共同参画社会の実現、情報の発信と共有、健全な行財政運営と広域連携について、計画を定めています。

○12 項目のうち6 項目（50％）が 100％以上、3 項目（25％）が 80～100％未満となっています。

- ・あやべボランティア総合センター登録団体数  
130 団体（目標 130 団体）100.0％
- ・FMいかる・あやべール・地域メルマガ等への市政情報提供件数  
1,723 件（目標 1,700 件）101.4％
- ・ふるさと納税件数  
6,046 件（目標 1,400 件）431.9％

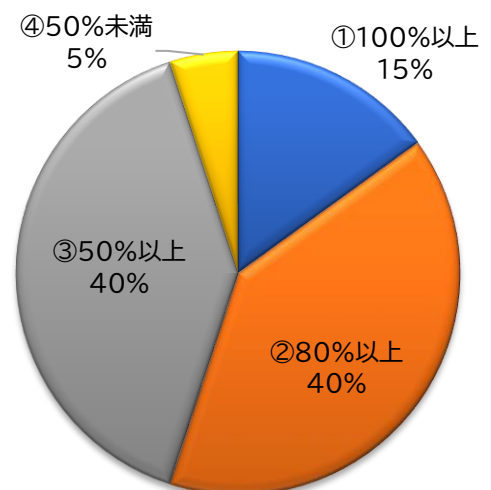


### 第３章 教育をたいせつにし、文化のかおるまち

○この章では、幼稚園、小・中学校教育の充実、社会教育の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術の振興について、計画を定めています。

○20 項目のうち3 項目（15％）が 100％以上、8 項目（40％）が 80～100％未満となっています。

- ・将来の夢や目標を持つ子どもの割合（中3）  
64.3％（目標 80％）80.4％
- ・図書館貸出冊数  
199,398 冊（目標 186,000 冊）107.2％
- ・総合文化祭作品出展数  
1,374 点（目標 1,400 点）98.1％

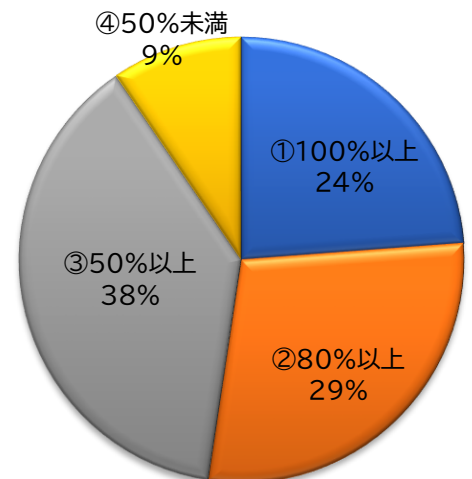


#### 第4章 環境をととのえ、健康のあふれるまち

○この章では、環境保全と廃棄物対策の推進、地域福祉社会の実現、子育て環境の充実、高齢者福祉の推進、障害者福祉の推進、保健の推進、医療体制の充実について、計画を定めています。

○21 項目のうち5 項目（24%）が 100%以上、6 項目（29%）が 80～100%未満となっています。

- ・ファミリー・サポート・センター会員数  
194 人（目標 150 人）129.3%
- ・障害者介護給付費等支給事業利用者数  
5,587 人（目標 5,520 人）101.2%
- ・乳幼児健康診査受診率  
98.0%（目標 98.5%）99.5%

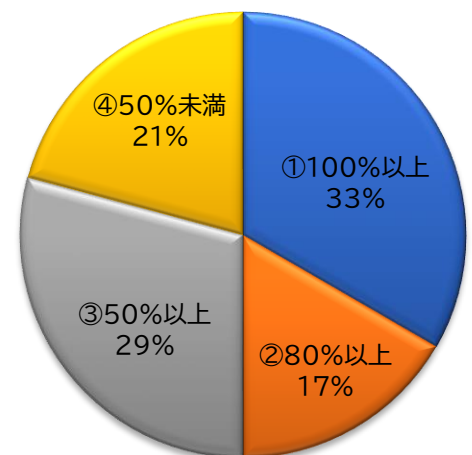


#### 第5章 産業をおこし、豊かなくらしのあるまち

○この章では、農林業・内水面漁業の振興、商工業の振興と雇用促進、観光と交流の推進、移住・定住の促進、スポーツの振興について、計画を定めています。

○24 項目のうち8 項目（33%）が 100%以上、4 項目（17%）が 80～100%未満となっています。

- ・空き店舗活用支援事業支援件数  
14 店（目標 10 店）140.0%
- ・水源の里への定住世帯数  
55 世帯（目標 41 世帯）134.1%
- ・スポーツ施設利用者数  
241,023 人（目標 206,000 人）117.0%

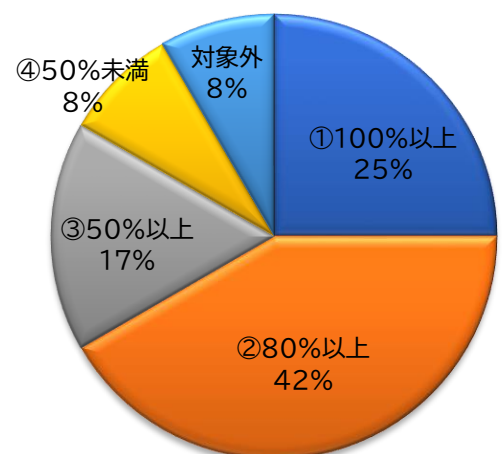


#### 第6章 計画を定め、輝かしいあしたをひらくまち

○この章では、土地利用と市街地の形成、道路・公園の整備、公共交通の充実、上下水道の運営と整備について、計画を定めています。

○12 項目のうち3 項目（25%）が 100%以上、5 項目（42%）が 80～100%未満となっています。

- ・公園施設長寿命化計画に基づく都市公園遊具更新率  
67.8%（目標 59.3%）114.3%
- ・あやバス乗車人数  
175,149 人（目標 205,000 人）85.4%
- ・汚水処理人口普及率  
87.3%（目標 85.2%）102.5%



第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
1	1 平和をねがい 祈りのあるまち	人権尊重社会の実 現	人権推進課	綾部市は、人権が尊重された豊かなまちに なっていると思う人の割合		↑	38.5% (H30)	50.0%	不明	不明	31.9%	63.8%	③50%以上	6年前の前回調査と比べ6.6ポイント減少した。 インターネット上の人権侵害、ハラスメント、 コロナ禍における誹謗中傷など様々な要因が考 えられる。	関係機関と連携し、研修会や講演会を実施するとともに、 広報紙や機関紙、ホームページ等を利用して情報発信を行 うなど、人権教育・啓発の推進に努める。
2	1 平和をねがい 祈りのあるまち	人権尊重社会の実 現	市民・国保課	登録型本人通知制度登録者数		↑	395人	1,000人	574人	606人	711人	71.1%	③50%以上	LINEや広報あやべ「ねっと」を活用し、制度の 案内を行った。また、職員があやべ人権フェス タ、人権を考えるセミナー及び地域の人権研修 に出向き、新規登録者の増加に努めた。さら には、シルバー人材センターの事務所に申請書 を配架し、会員向けにPRを行った。	イベントや研修会でのPRや出張申請を継続して実施する。 広報紙、ホームページや窓口での案内などを中心としてPR に努める。また、市内各団体と連携し、事務所に申請書 を置かせていただくよう依頼を行い、登録者の増加に繋げ る。
3	1 平和をねがい 祈りのあるまち	人権尊重社会の実 現	人権推進課 社会教育課	人権に関する啓発活動や講演会などへの年 間参加者数		↑	2,198人	2,550人	1,431人	2,287人	2,181人	85.5%	②80%以上	【人権推進課】 「あやべ人権フェスタ2024」を「あいフェ スティバル」と合同開催し、映画「FLY」上映等 を実施し、152人の参加があった。 【社会教育課】 人権を考えるセミナーは、中央公民館、あや テラスホールを会場に、年5回実施を予定し たが、台風接近により1回中止となった。 全市人研、人権教育講演会も人数制限せずに、 参加を呼びかけ実施した。	【人権推進課】 継続して開催することで、さらに広く市民への啓発につな げていく。 【社会教育課】 人権を考えるセミナーは、年5回の開催を実施する。全市 人研と人権を考えるセミナーが11月に重なっており参加が 難しいという市民の声に応えるため、セミナーの開催時期 を変更できないか検討する。市民や共催団体の実態やニー ズに応じた講演内容を検討する。
4	1 平和をねがい 祈りのあるまち	人権尊重社会の実 現	人権推進課	人権福祉センター各種講座参加者数	年間	↑	4,076人	4,500人	3,413人	4,208人	3,880人	86.2%	②80%以上	講座参加者については、参加者の固定化や高齢 化のため多くの講座で減少傾向にあるが、パソ コン講座は根強い人気がある。	継続事業については、引き続き実施し、さまざまな機会を 通じて事業の周知を行う。 各種講座によっては、市民ニーズに沿った事業となるよう 見直しを行い、趣旨を理解いただきながら魅力あるものに する。
5	1 平和をねがい 祈りのあるまち	平和の発信と国際 交流	企画政策課	綾部市民平和祈願の集い参加者数		↑	150人 (H30)	150人	80人	0人	100人	66.7%	③50%以上	8月15日午前7時から寺山山頂で開催。「平和 の鐘」が打ち鳴らされるなど、恒例となる事業 として100人が参加した。	毎年、戦戦記念日である8月15日に寺山山頂で開催してい るが、今後はあやパークで実施予定のため、引き続き、平 和等をテーマに市民団体と連携し多くの方が参加しやすい イベントや啓発活動に取り組んでいく。
6	1 平和をねがい 祈りのあるまち	平和の発信と国際 交流	企画政策課	世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・ 作文コンクール応募数		↑	399点	460点	400点	361点	340点	73.9%	③50%以上	市内全小・中学校へ作品の応募を依頼し、ポス ター290点、作文50点の作品が集まった。うち、 9点が全国コンクールで入賞した。 作品数は増加傾向にあるが、類似のコンクール が多数あるため、学校ごとの取組により応募点 数が左右される状況である。	生徒・児童数の減少などを考慮しつつ、様々な機会を捉え てコンクールの趣旨や目的などを周知し、より多くの取 組・参加を図る。
7	1 平和をねがい 祈りのあるまち	平和の発信と国際 交流	企画政策課	綾部国際交流協会日本語教室等参加者数	年間	↑	1,130人	1,130人	542人	716人	850人	75.2%	③50%以上	綾部国際交流協会に委託し日本語教室や相談事 業を開催した（日本語教室44回・相談事業48 回）。参加者は学習者延べ429人・ボランティア 延べ421人の計850人となった。	今後も、綾部国際交流協会と連携を密にし、日本語教室と 相談業務を駅から近くより便利な市民センターで定期的 （月4回）に開催する。また、外国人転入者の増加傾向を 踏まえ、外国人への積極的なアプローチを行うことで参加 者の増加に努める。
8	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	防災・危機管理課	防災座談会などの開催数	5か年累計	↑	105回 (H27～R元)	125回	31回	54回	86回	68.8%	③50%以上	自治会や民生委員等を対象に出前講座等を開催 した。 このほか、ホームページや広報紙など、各種メ ディアを活用した情報提供を行うことにより防 災意識の高揚を図った。	今後も地域への出前講座等を通じて、災害に対する日ごろ の備えや避難情報の発令基準、情報発信手段や取得方法、 災害時にとるべき行動などを伝えることにより、防災知識 の向上と防災意識の高揚に取り組む。
9	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	防災・危機管理課	避難行動タイムライン作成組織数	累計	↑	4組織	21組織	40組織	45組織	56組織	266.7%	①100%以上	口上林地区自治会連合会へ、タイムラインの説 明を行い作成促進を図った。また、福知山河川 国道事務所と連携し、大島町西自治会でワーク ショップを開催した。令和6年度は11自治会で タイムライン及び防災マップを作成した。	今後も市職員が地元に入りワークショップの進行役を担 い、タイムライン及び防災マップ作成支援するなどバック アップ体制の構築を図る。

第 6 次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
10	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	建設課	急傾斜地崩壊対策事業・砂防対策事業新規 実施箇所数	累計	↑	0箇所	5箇所	2箇所	2箇所	2箇所	40.0%	④50%未満	令和 6 年度の新規は無し。継続事業の実施。 急傾斜地崩壊対策事業：小西地区（小西町）工 事用道路設置工事実施 砂防事業：大島川（大島町）補償調査実施	地元や府と調整を図り事業の進捗を図る。
11	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	都市建築課	木造住宅耐震診断補助実施数	累計	↑	187件	270件	243件	256件	322件	119.3%	①100%以上	診断費用の自己負担無償化を行い、事業の周知 を講演会や業者説明会、広報紙、デジタルサイ ネージで行った結果、診断実施件数は66件とな り、例年に比べ大幅な実績増となった。	引き続き市民に周知を図り事業を推進する。
12	1 平和をねがい 祈りのあるまち	防災対策の推進	都市建築課	木造住宅改修補助件数	累計	↑	115件	195件	151件	159件	180件	92.3%	②80%以上	改修費用の拡充を行い、事業の周知を講演会や 業者説明会、広報紙、デジタルサイネージで 行った結果、耐震改修件数は21件となり、例年 と比較し大幅な実績増となった。	引き続き市民に周知を図り事業を推進する。
13	1 平和をねがい 祈りのあるまち	消防・救急体制の 充実	消防本部 予防課	訓練実施事業所・自治会数（防火座談会を 含む）	年間	↑	109か所	200か所	132か所	135か所	141か所	70.5%	③50%以上	事業所の消火・避難訓練が87か所、防火座談会 等の出前講座が54か所、計141か所の実施とな り、増加となった。	事業所への立入検査により、事業所訓練未実施を指導し、 是正する。
14	1 平和をねがい 祈りのあるまち	消防・救急体制の 充実	消防本部 管理課	各訓練・行事参加消防団員数	年間	↑	2,983人	3,000人	3,974人	3,120人	2,973人	99.1%	②80%以上	消防団の各種訓練、研修において、団長点検を 市長査閲式として行ったことから訓練回数が減 少し、参加団員数も減少した。	消防団員の減少、消防団員の負担軽減による訓練や研修の 見直しを行い参加団員数に減少が見られるが、参加しやす い環境づくりと効率的な消防団活動が行えるように訓練及 び研修内容を計画して活性化を図る。
15	1 平和をねがい 祈りのあるまち	消防・救急体制の 充実	消防本部 管理課	綾部市消防団応援の店登録件数		↑	105件	120件	114件	114件	116件	96.7%	②80%以上	店舗に訪問する等、積極的な登録促進に取り組 み 4 店舗に新規登録をいただいたが、社会情勢 等の影響により廃業をされる店舗が登録を廃止 されたため、登録店舗数は 2 件増であった。	広報や新規店舗等に積極的に訪問し、消防団応援の店制度 を理解していただき、登録店舗数が増加するよう登録促進 の活動を行い、消防団員の加入促進に繋げる。
16	1 平和をねがい 祈りのあるまち	消防・救急体制の 充実	消防本部 警防課	救命講習受講者数	累計	↑	13,108人	15,300人	13,998人	14,384人	15,020人	98.2%	②80%以上	救命率の更なる向上を目的として事業を継続実 施した。令和 2 年度、3 年度と新型コロナウイルス 感染症の影響で開催回数及び新規受講者数 が減少し、目標達成が困難と考察していたが、 令和 6 年度、新規受講者数を大きく伸ばすこと ができ、目標達成を目指す状況に回復したと 分析する。  事業名称：普通救命講習Ⅰ、開催様態：出前講 座を中心に自治会・企業・学校単位で実施、関 連安全・安心のまちづくり推進協議会として、関 係機関と連携し、街頭啓発活動や交通安全教室 を行った。	現在の事業展開を維持し、目標達成に向け、新規受講者数 の増加に努める。
17	1 平和をねがい 祈りのあるまち	生活の安全性の向 上	市民協働課	交通安全啓発活動参加者数	年間	↑	598人	650人	534人	799人	767人	118.0%	①100%以上	安全・安心のまちづくり推進協議会として、関 係機関と連携し、街頭啓発活動や交通安全教室 を行った。	今後も引き続き、安全・安心のまちづくり推進協議会とし て、関係機関と連携し、街頭啓発や研修会などによる市民 への交通安全意識の啓発や交通安全情報の提供を行う。
18	1 平和をねがい 祈りのあるまち	生活の安全性の向 上	市民協働課	防犯啓発活動参加者数	年間	↑	554人	650人	237人	275人	399人	61.4%	③50%以上	安全・安心のまちづくり推進協議会として、関 係機関と連携し、街頭啓発活動や講演会等 を行った。	今後も引き続き、安全・安心のまちづくり推進協議会とし て、関係機関とさらに連携を強化し、街頭啓発などによる 市民への防犯意識の啓発や犯罪情報の提供を行う。
19	1 平和をねがい 祈りのあるまち	生活の安全性の向 上	市民協働課	あやべ見守り C A R 参加台数	累計	↑	291台	500台	483台	509台	538台	107.6%	①100%以上	会議やイベントなど機会があるごとに広くチラ シを配布し、事業の趣旨を理解してもらうこと で登録を増やした。	広く市民が集まる機会を活用して、事業の趣旨を理解いた だき、引き続き登録台数の増加を目指す。
20	1 平和をねがい 祈りのあるまち	生活の安全性の向 上	商工労政課	消費生活出前講座受講者数	年間	↑	181人	255人	218人	148人	95人	37.3%	④50%未満	4 団体に対し 6 回の出前講座を開催した。	街頭啓発等の啓発活動とあわせて引き続き消費者被害の未 然防止に努める。



第 6 次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
21	2 自治を高め 心のつながりのある まち	市民活動の促進と 地域の活性化	市民協働課	コミュニティ助成事業数	5か年累計	↑	36件 (H27～R元)	50件	13件	18件	24件	48.0%	④50%未満	自治会等地域活動の拠点となる公会堂等施設の 改修工事や地域コミュニティの活性化に資する 事業について支援を行った。	活動拠点施設整備及び活動への支援を行うため、ホーム ページでの広報により制度の周知を図るとともに、申請受 付時期には全自治会長宛てに文書案内を行う。また、自治 会等の未活用団体へ積極的な推進を行うことで更なる活用 数増加に努める。
22	2 自治を高め 心のつながりのある まち	市民活動の促進と 地域の活性化	市民協働課	自治会加入世帯率		↑	79.9%	85.0%	77.6%	77.1%	75.6%	88.9%	②80%以上	自治会連合会活動の支援を行うため、自治会報 奨金や自治会連合会が実施する多種多様な地域 課題を地域の実情に合わせ解決するための補助 金や環境保全活動に対する補助金を交付した が、自治会加入率は高齢化や外国人に関する問 題等が影響しており、伸び悩みの状態にある。	自治会活動の支援等により、加入率の増加を目指す。 綾部市自治会連合会と連携を図り、加入促進策を検討す る。
23	2 自治を高め 心のつながりのある まち	市民活動の促進と 地域の活性化	市民協働課	あやべボランティア総合センター登録団体 数		↑	124団体	130団体	126団体	126団体	130団体	100.0%	①100%以上	ボランティア活動の普及と充実を推進し、登録 団体の増加に努めた。	今後も引き続き、ボランティア活動の普及と充実を推進す るため、登録団体の増加を目指す。
24	2 自治を高め 心のつながりのある まち	市民活動の促進と 地域の活性化	市民協働課	あやべハートセンター利用件数	年間	↑	369件	400件	337件	410件	343件	85.8%	②80%以上	あやべハートセンター施設の老朽化等により、 ボランティアの活動を含む市民活動の拠点施設 として旧図書館施設を改修し、エレベーターの 設置など誰もが使いやすい施設として「ハート 交流センター」を整備した。	新たな市民活動拠点施設となる「ハート交流センター」 （令和 7 年 4 月 1 日供用開始）の施設管理運営を行い、ボ ランティア活動を推進するため、安心して活動を行える拠 点づくりを目指す。
25	2 自治を高め 心のつながりのある まち	男女共同参画社会 の実現	人権推進課	社会全体で男女の地位が平等になっている と思う人の割合（R6） （「綾部市男女共同参画」に関する市民意 識調査（5 年ごとの実施））		↑	20.5%	30.0%	—	—	16.1%	53.7%	③50%以上	今回の調査では 1 6、 1 %と前回調査より若干 減少しているが、これは、男女共同参画・ジェ ンダー平等のためのさまざまな社会の動きに対 する関心度について女性の関心度が大きく上昇 するなど、ジェンダー平等意識が高まっている 一方で、これまで気づいていなかったジェン ダー不平等な状況に気づくことから男性優遇感 が払しょくされないことが要因と考えられる。	社会全体に男女平等な状況になることを目指し、積極的に 改善が行われるよう広く啓発を行う。
26	2 自治を高め 心のつながりのある まち	男女共同参画社会 の実現	人権推進課	あいアカデミーなど各種講座への参加者数	年間	↑	263人	300人	420人	545人	581人	193.7%	①100%以上	あいアカデミー： 2 回105人、あいアカデミー特 別講座： 4 回67人、あいアカデミーミニ講座： 1 回 9 人、男性クッキング： 2 回 9 人、パバ クッキング： 2 回 4 人、あいセンター講座： 2 回121人、出前講座： 3 回114人、あやべ人権・ あいフェスティバル： 1 回152人	男性や若年層、子育て世代が関心を持つテーマなど、内容 に工夫をして開催することで広く市民の参加を促す講座を 実施することにより、新たな層の参加に繋げる。
27	2 自治を高め 心のつながりのある まち	男女共同参画社会 の実現	人権推進課	審議会・委員会などにおける女性委員の比 率		↑	30.0%	40.0%	31.0%	30.1%	31.9%	79.8%	③50%以上	各所属において委員を任命するにあたり、充て 職に寄らず女性を団体から推薦していたりなど などの取組を行ったことにより、若干比率が増加 したが、目標値の達成には至らなかった。	引き続き、女性委員の登用を推進するよう各所属に依頼す る。
28	2 自治を高め 心のつながりのある まち	情報の発信と共有	秘書広報課	綾部市ホームページのトップページアク セス件数	年間	↑	453,191件	500,000件	953,867件	640,926件	671,871件	134.4%	①100%以上	トップページのメインビジュアルの見直しなど を続け、多くのアクセスがあった。年間を通じ て、施設の案内やあやパスの運行情報、職員募 集のアクセスが多かった。よく見られている キーワードを表示するなど、アクセスしやすい よう工夫した。	広報紙やLINE、Facebookとの連携を引き続き行う。分類や トップページのメインビジュアルなど見直しを続け、より 市民に見られ、必要な情報が伝わるホームページを構築す る。
29	2 自治を高め 心のつながりのある まち	情報の発信と共有	秘書広報課	F Mいかる・あやべール・地域メルマガ等 への市政情報提供件数		↑	1,637件	1,700件	1,852件	1,739件	1,723件	101.4%	①100%以上	FMいかるやあやべール、地域メルマガ等を活用 して市の情報を周知した。（令和 6 年度実績： プレスリリース613件、F Mいかる555件、あや べール（お知らせ）555件）	引き続き情報発信に努める。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
30	2 自治を高め 心のつながりのある まち	情報の発信と共有	行政デジタル推進課	地域メールマガジン登録件数		↑	6,144件	6,700件	6,583件	6,571件	6,455件	96.3%	②80%以上	地域情報の受信手段としての役割があるメルマガということから若い世代から高齢者まで幅広いニーズがあり、一定範囲を行っている。なお、新しい情報取得ツールである「綾部市地域情報アプリ」を構築し、令和6年度から運用を開始している。	スマートフォン以外の方に対しては引き続きメールマガジンの設定支援やメール受信設定の変更を柔軟に行う一方で、スマートフォン所有者に対しては、「綾部市地域情報アプリ」の利用促進を図っていきたい。
31	2 自治を高め 心のつながりのある まち	健全な行財政運営 と広域連携	企画政策課	ふるさと納税件数	年間	↑	910件	1,400件	1,745件	3,184件	6,046件	431.9%	①100%以上	寄附件数6,046件、寄付金額221,553,800円	中間事業者及び各ポータルサイト事業者と連携し、新たな返礼品の拡充及び情報発信の強化により利用拡大を図る。
32	2 自治を高め 心のつながりのある まち	健全な行財政運営 と広域連携	企画政策課	企業版ふるさと納税件数	累計	↑	2件	12件	16件	21件	35件	291.7%	①100%以上	寄附件数14件、寄附金額60,800,000円	新規プロジェクトの構築、企業への情報発信、営業活動を強化する。
33	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	小学校と連携した幼稚園教育が実施できていると感じている保護者の割合		↑	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	①100%以上	幼小連携推進事業の計画に沿って、園と小学校の子ども同士の交流活動や教師の研究会が進められた。小学校と連携した体験活動を通して、園児は学びの基盤となる意欲や根気、社会性などの力を付けた。	今後も幼小連携事業を中心に、架け橋期の2年間をイメージしながら「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した園教育と、その育ちを踏まえた小学校教育の充実に努める。幼児教育アドバイザーの活用を継続し、園教育のさらなる充実を図るとともに、保護者や作成する「入学前のお知らせとお願い『にこにこ』」や年度末に園と保護者、関係機関が共同で作成する「移行支援書」等の活用を進め
34	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	将来の夢や目標を持つ子どもの割合（中3）		↑	64%	80%	76%	58%	64.3%	80.4%	②80%以上	小学5年生で職場見学、中学2年生で職場体験学習を実施した。また中学生を対象としたキャリア教育講演会、中学生みらい会議等、将来を展望する機会があった。また各校で実施するキャリア教育の取組（ドリームマップ・キャリアパスポート等）を通して、将来について考えることができている。	小中一貫したキャリア教育を充実させ、自分を客観的に見つめ、将来を展望する機会を大切にする。キャリア教育を軸としたカリキュラムマネジメントを実践し、様々な生き方があること、それぞれの希望や夢を大切に育む指導を実践する。またそれぞれの将来の夢の実現につながる進路指導を充実させる。
35	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	地域の行事に参加する子どもの割合（中3）		↑	67%	75%	71%	62%	62.3%	83.1%	②80%以上	子ども会の組織が機能していること、地域の活動が残っていることが結果につながっている。また学校をプラットフォームとして、学校・地域・PTAが取り組む行事が行われている。親が参加することで子どもも参加する割合が多いと分析する。	コミュニティスクールを中心とした、学校と地域が一体となって子どもたちを育み、見守る体制ができつつある。地域の実態に応じた行事や取組を、さらに工夫することで地域と学校が協働して子どもたちを育み、ふるさとを愛する子どもの割合も増すと考える。
36	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	中学校卒業時の英語検定3級以上取得者の割合		↑	39%	65%	44.0%	31.2%	39.5%	60.8%	③50%以上	英検3級以上の取得者の割合は昨年度より向上した。全国学力学習状況の結果からも、英語科の教員が授業改善を進めることが必要と考える。	令和7年度からスコア型英語4技能テストを導入することにより、生徒の学力実態を分析し、4技能の習得を意識した授業改善を進めることで、英検3級相当以上の学力を定着させたい。
37	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	高齢者学級参加者数	年間	↑	2,459人	2,500人	1,638人	1,511人	1,566人	62.6%	③50%以上	市内12地区で、年間3～8回開催。健康教室や演奏会、レクリエーション、人権学習等を行った。老人クラブの解散や加入会員の減少に伴い、高齢者学級の参加者も減少傾向にある。台風の影響で中止になったところもあったが、概ね計画通りに開催することができた。	地域の実情にあった運営面での工夫や講座内容の充実に努めることにより、現状での利用人数の確保を目指す。
38	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	障害者教室参加者数	年間	↑	347人	350人	255人	286人	343人	98.0%	②80%以上	青年学級、成人教室、視覚・聴覚・難聴講座の5講座を開催。スポーツや絵手紙作成、健康体操、音楽鑑賞、講座の合同交流会等、年間計27回の講座を実施した。	講座内容等の工夫を行い、参加者数を確保し、現状維持を目指す。
39	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	地区公民館利用件数	年間	↑	3,968件	4,000件	3,482件	3,474件	3,307件	82.7%	②80%以上	公民館ごとの特色ある自主事業を通じて、施設の利用促進を図った。	指定管理者による地域の実情に合った公民館運営により現状での利用件数・利用人数を確保する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
40	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	中央公民館利用件数	年間	↑	771件	780件	694件	709件	735件	94.2%	②80%以上	貸館事業や自主事業（中丹ふれあいアカデミー）を開催した。 コロナ禍を経て、少しずつ回復している。	貸館業務並びに自主事業の開催により、利用件数並びに利用者数の確保を図る。
41	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	図書館貸出冊数	年間	↑	130,190冊	186,000冊	126,254冊	144,675冊	199,398冊	107.2%	①100%以上	旧図書館から新図書館への移行や立地条件が良くなったことにより利用者数が増え貸出冊数の増加につながった。	新図書館の機能をフル活用し、特集本の展示や、行事を実施すること、また、利用者の新たなリクエスト要求など聞きながら、貸出冊数を増やしていけるよう図書館を運営していく。
42	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	図書館ホームページ及びオンライン蔵書目録アクセス件数	年間	↑	29,086件	41,000件	30,801件	22,914件	28,000件	68.3%	③50%以上	利用者が増えたことにより、ホームページへのアクセス数も増えた。	新図書館をさらに利用していただけるように、行事や展示本の紹介、新着情報などこまめな情報発信を行う。
43	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	天文館入館者数	年間	↑	11,794人	12,000人	8,719人	9,598人	10,926人	91.1%	②80%以上	外部講師による工作教室を開催したり、他課や市民団体との共催イベントを開催するなど新しいイベントを複数開催し、コロナ禍以降初めて入館者数が1万人台まで回復した。	今後も天文館という施設の特徴を生かして、更に魅力ある施設となるよう施設の整備を行い、ニーズに合った催しを企画していく。
44	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	資料館利用者数	年間	↑	2,508人	2,550人	2,000人	2,634人	2,580人	101.2%	①100%以上	企画展示、古文書講座等を積極的に実施した。 また当該年度は特別展示開催年であったため、綾部藩を題材とした展示と講演を行い、多くの方に綾部の歴史を知ってもらう機会とすることができた。 (具体的な取組) ・特別展「今がアツい！綾部九鬼藩-あやべの藩と領主たち-」入館者：1,007人 ・企画展示「上林城と藤掛陣屋」入館者：445人 ・企画展示「あこのころにタイムスリップ-今年20歳を迎える方の卒業当時をふりかえろう-」入館者：185人 ・企画展示「名探偵 土を掘る！」入館者：358人 ・3館合同企画久田山フェスティバル 入館者：53人 ・古文書講座 受講者：34人	引き続き展示や各種行事の企画、運営及び講座等の情報発信を積極的に行い、来館者増加を目指す。特に子ども向けの行事を実施し、文化財をはじめとする歴史資料に触れられる機会が得られる場所として企画を行う。 特別展示を隔年で実施する。また常設展示にも興味を示してもらえるよう努める。
45	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	青少年健全育成の推進	社会教育課	青少年地域活動支援事業補助金交付団体数	年間	↑	29団体	30団体	7団体	9団体	9団体	30.0%	④50%未満	異世代間交流や体験活動などを通じて、青少年の健全な育成を促進するため、子ども会等地域の青少年育成団体に補助金を交付した。	近年、申請数が減少傾向であるとともに、申請団体が固定化されてきている中、学校などを通じ、より多くの子ども会等に周知を図り活用を促す。



第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
46	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	青少年健全育成の推進	社会教育課	一斉声かけ参加者数	年間	↑	720人	850人	560人	443人	512人	60.2%	③50%以上	11月18日を全市一斉声かけの日として実施した。公民館、PTA、学校等が連携した取組となっている。例年通りの取組ができた。	「地域の子どもは地域で守り育てる」という機運を高めるため、きっかけづくりの事業として、より多くの参加者が得られるよう育成協参画団体等にさらに呼びかけ、参加者の増加を目指す。
47	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	優良建築物活用事業利用件数	年間	↑	16件	18件	12件	13件	15件	83.3%	②80%以上	優良な建築物で展覧会等を行いたい利用者に対し、会場使用料の一部を市が負担することにより、文化・芸術活動を支援した。	年間を通じて書や絵画をはじめとした文化活動の展示、発表の場としての利用がある。引き続きPR活動を行うとともに、グンゼスクエアと一体的に適切な運営に努める。
48	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展作品出展数		↑	266点	280点	232点	236点	220点	78.6%	③50%以上	多くの出展を呼びかけるため過去の出展者をはじめポスターの掲示や広報に努めた。	引き続き、関係団体や高校とも連携を図り、出展数の増加を図りたい。 また、洋画、日本画の出展数が減少傾向にあり部門の統合を検討していく。
49	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展入場者数		↑	2,557人	2,600人	1,625人	1,636人	1,544人	59.4%	③50%以上	多くの来場者となるようアートフェスタと同時に開催し、相乗効果を図っている。	更なるPRに努め、市民の鑑賞の機会を提供していく。
50	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭作品出展数		↑	1,332点	1,400点	1,776点	1,233点	1,374点	98.1%	②80%以上	文化協会会員の活動の成果発表の場として、多くの作品が出展された。市民の文化活動の総合的な発表・鑑賞の場として市民文化の向上に貢献できた。	文化協会の充実発展と自主的事業の展開に向け、継続して支援を実施する。
51	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭入場者数		↑	5,674人	5,700人	3,982人	4,885人	4,280人	75.1%	③50%以上	幼・小・中の作品展も設けるなど若い世代でも参加できる機会作りにも努めており、多くの市民の来場があった。こうした成果も得られ市民文化の向上に貢献できた。	多くの市民の方が入場しており、市内の文化振興につながっている。市内最大の文化活動鑑賞の場として今後も支援していく。
52	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	中丹文化会館入場者数	年間	↑	45,060人	50,000人	34,886人	37,921人	31,945人	63.9%	③50%以上	会館利用者の増加を図るため、鑑賞型事業を積極的に行われた。	中丹文化事業団については、鑑賞型事業はもちろんのこと、参加型事業、芸術文化創造活動の育成事業などを積極的に展開されており、引き続き支援を実施する。
53	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境政策課	1人当たりごみ排出量（家庭ごみ）	年間	↓	189kg	180kg	186kg	183kg	178kg	101.1%	①100%以上	ごみ分別の徹底など、ごみ減量化・資源化の取組推進により、燃やして処理するごみは、年々減少傾向にあるが、燃やさないで処理するごみは、過疎・高齢化等から、空き家の片付けなどが要因と思われるごみが増加している。	引き続き、ごみ分別の徹底とごみ減量化・資源化の普及推進に努める。
54	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境政策課	資源物（紙類）回収量	年間	↑	1,041 t	1,500 t	923 t	772 t	722 t	48.1%	④50%未満	資源回収補助金制度により、自治会やPTA等の団体による自主的な資源回収を支援した。 ネットニュース等の普及に伴う新聞紙等の減少により、目標とする回収量は達成できなかった。	紙類を少しでも多く、資源として出してもらうように資源回収補助金制度や古紙回収用保管庫設置費補助金制度のPRを行い、登録団体・回収量の増加に努める。
55	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境政策課	リサイクル推進員研修会参加率		↑	57%	65%	32%	34%	33%	50.8%	③50%以上	「ごみ減量化の取組について」「ごみ処理状況について」の研修会を行った。	参加率の向上を図り、参加者の理解を深めるため、研修内容を検討する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	R4実績	R5実績	①R6実績	R6達成率	R6達成区分	②R6実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
56	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	地域福祉社会の実現	高齢者支援課	地域福祉活動補助金交付件数	年間	↑	32件	32件	22件	23件	22件	68.8%	③50%以上	令和6年度は前年度と比較して、1件の減となった。近隣に話相手のいない高齢者が参加しやすいうように各サロンで工夫を凝らした取組が行われているが、各団体ともサロン活動開始時のメンバーの高齢化・後継者不足、参加者の減少等により、従来の活動の見直しが行われている。また、大規模な団体の補助金辞退や活動の見直しが行われた。今後も、このような流れが高齢者が中心となって子どもとの交流を行う団体に対して補助金を交付し、活動を支援した。アフターコロナで様々な感染症対策を講じる策に対しても補助の対象とし、子どもと高齢者との交流の場を提供し、また、地域の人とともに、子どもが各種ふれあい活動に参加することで、世代間交流、子育て活動を促進した。延べ開催回数81回 参加延人数1,795人（子ども881人、指導者914人）	今後の活動の見直しを行う団体が増える中で、活動を継続していただくのが困難なサロンも出てきている。高齢者が参加しやすいサロン活動となることと、ボランティアの負担軽減を図り、活動を継続しやすい環境を整えていけるよう、検討が必要となっている。
57	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	地域福祉社会の実現	子育て支援課	シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数	年間	↑	6か所	8か所	6か所	6か所	6か所	75.0%	③50%以上	高齢者が中心となって子どもとの交流を行う団体に対して補助金を交付し、活動を支援した。アフターコロナで様々な感染症対策を講じる策に対しても補助の対象とし、子どもと高齢者との交流の場を提供し、また、地域の人とともに、子どもが各種ふれあい活動に参加することで、世代間交流、子育て活動を促進した。延べ開催回数81回 参加延人数1,795人（子ども881人、指導者914人）	今後も継続して同規模で高齢者が中心となって子どもとの交流を行う団体に対して補助金を交付し、子育て活動及び世代間交流を支援する。
58	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	子育て環境の充実	子育て支援課	児童館・児童センター利用児童数	年間	↑	8,590人	8,600人	6,204人	5,451人	5,934人	69.0%	③50%以上	児童福祉法に基づき、児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的に運営した。市内3施設において、それぞれ未就学児を対象とした「ひろば」を計画的に開催するなど、利用促進に努めた。児童の数が減ってきている上に、小さい年齢から子ども園、保育園等へ入園する子が多くなっている（保育料の無料化・母親の就労者割合の増加等による）ことにより、目標値を達成することができなかった。	多くの児童に利用していただける効果的な事業実施に努め、施設の適正運営に努める。
59	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	子育て環境の充実	子育て支援課	保育所、認定こども園への入所（園）希望者の入所（園）率	年間	↑	99.4%	100%	100%	100%	100%	100.0%	①100%以上	子育て世帯が安心して暮らし、働くことができるよう幼児教育・保育の場（保育所等9施設）を提供するとともに、幼児教育・保育の認定や各施設への入所調整を適正に実施した。9施設の内訳（公立保育所1施設、私立保育所2施設、私立認定こども園6施設）	引き続き、子育て世帯が安心して暮らし、働くことができるよう幼児教育・保育の場（保育所等9施設）を提供するとともに、幼児教育・保育の認定や各施設への入所調整の適正実施に努める。
60	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	子育て環境の充実	こども支援課	ファミリー・サポート・センター会員数		↑	120人	150人	166人	197人	194人	129.3%	①100%以上	社会福祉法人への業務委託により、綾部市ファミリー・サポート・センター事業を実施した。会員相互の援助活動により、仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てができる環境づくりを推進した。 【令和6年度末会員数（194人）の内訳】 依頼会員136人 提供会員50人 両方会員8人	経験と実績がある社会福祉法人への業務委託を継続し、会員の獲得と会員相互の援助活動の推進に努める。
61	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	介護職員研修受講補助者数	年間	↑	—	10人	7人	6人	17人	170.0%	①100%以上	介護職員研修受講補助利用者については、市内事業所への周知により従来の補助対象で一定の利用者数があった。令和6年度には新たに介護支援専門員に係る研修受講も補助対象としたことにより利用者が大幅に増加し目標を達成した。資格取得により、雇用の安定につながっている。	市内事業所へ研修受講の協力及び周知の依頼を行い、利用者数の増加を目指す。 また、就職イベント等の際に配布する等、従事者でない層への広報・啓発により新規の従事者確保を図る。

第 6 次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
62	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	地域包括支援課	認知症サポーター養成講座受講者数	累計	↑	11,408人	13,500人	12,062人	12,428人	12,867人	95.3%	②80%以上	認知症サポーター養成講座を自治会・学校などで開催した。 ・認知症サポーター年間開催状況15回、417人（学校4回、自治会・高齢者サロン等5回、企業・職能団体2回、その他一般住民3回、市役所1回） ・認知症キャラバンメイトの新規養成者8人。 (累計：119人) ※R6年度、累計人数から22名がポーターに移行（活動意欲確認により）	今後も幅広い年代に対するのサポーター養成講座が開催出来るよう地域や学校、企業・職域に呼びかけを行う。 キャラバンメイトの養成については、市単独での開催は困難なため、今後も京都府と連携して行う。 市はキャラバンメイト事務局として活動を支援する。また、キャラバンメイト連絡会などを通して、非活動メイトへ活動を呼びかける。 今後は、本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み(チームオレンジ)づくりについて
63	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	清山荘入館者数	年間	↑	26,705人	30,600人	17,792人	17,942人	17,788人	58.1%	③50%以上	令和6年度はほぼ前年度並みの入館者数となった。指定管理者において、利用者の増加に向け、新しい講座の開設、食堂業務の再委託等取り組んでいたが、前半は利用者数の増加が見られたが、後半は台風や積雪による影響から、高齢者が利用する施設として、安全の確保のため、休館せざるをえない場合もあり、入館者数に減少が見られた。	認知症サポーターが活躍できる体制づくりを検討す 市内に様々な年代の市民が利用できる施設が増え、立地条件も厳しい中で、現在の利用人数を維持・増加していくためには、老朽化した設備を高齢者が使いやすいにバリアフリー化を図りながら、インターネット環境等、デジタル化を検討し、必要な改修を行っていく。
64	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	障害者生活支援事業相談件数	年間	↑	16,393件	16,400件	14,387件	18,787件	15,835件	96.6%	②80%以上	全体の相談件数は横ばい状態で推移している。虐待が疑われるケース、緊急対応を要するケース、緊急に入所先を探さないといけないケースなど地域とのつながりが希薄化するなどの背景から重度かつ緊急の案件が増加している。	相談支援事業所の体制強化とさらなる連携を図り、基幹相談支援センターによるバックアップを今後も図る。
65	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	障害者介護給付費等支給事業利用者数	年間	↑	5,121人	5,520人	5,229人	5,450人	5,587人	101.2%	①100%以上	居宅介護、同行援護、生活介護等利用者ニーズに応えた支給決定及びサービス利用となるよう努めた。	障害福祉サービス事業所の拡充について支援をするなど、サービス提供基盤の整備に取り組み、利用者ニーズに即した多様なサービス利用につなげていく。
66	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	地域活動支援センター利用者数	年間	↑	956人	966人	957人	1,133人	946人	97.9%	②80%以上	社会参加の場として多数の利用者に参加いただいた。事業内容よりも多くの方が参加しやすいものになるよう見直しも行った。	若年層や知的、精神障害者など地域共生社会に則した誰もが利用しやすい場所となるよう、今後も一層の参加への促しを行う。
67	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	精神障害者社会復帰相談者数	年間	↑	2,986人	3,080人	2,277人	1,885人	1,605人	52.1%	③50%以上	相談支援事業所の側面の支援を中心に相談支援を行った。令和3年度からは基幹相談支援センターとして相談対応を行っている。8050問題や虐待ケース、その他病院や警察署をはじめとする関係機関等から入る緊急接相談など、様々な背景のある方たちの相談を行っている。	専門職を中心に、保健所や医療機関、相談支援事業所等様々な関係機関と連携を取り、基幹相談支援センターとして支援を継続する。
68	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	保健の推進	こども支援課	乳幼児健康診査受診率	年間	↑	97.3%	98.5%	98.6%	98.4%	98.0%	99.5%	②80%以上	体調不良、日程の都合等で延期される方がおられるが、随時勧奨を行っている。その他、健診結果にて発育発達面のフォローに繋げている。	今後も未受診者の把握を行い、通知、電話、訪問等で勧奨をし、受診を促進する。また、健診受診者数の現状維持を目指す。
69	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	あやちゃん健康ポイント事業取組人数	年間	↑	1,185人	1,325人	953人	978人	963人	72.7%	③50%以上	令和5年度の参加者数978人からは15人減少したが、コロナ禍が明け参加者数は概ね右肩上がりになっていることには変わりない結果となった。参加者の年齢層は、60歳以上が6割以上を占めており、男性の参加者数は全体の3分の1と例年同様の傾向となった。	あやちゃん健康ポイントは令和6年度をもって終了。 令和7年3月から、市民一人ひとりが主体的に行う健康づくりの取組を支援する環境整備等を目的としたスマートフォンアプリ「綾部市健康サポートアプリAYATOCO」の運用を開始した。1日歩数等によるランキング、体重・血圧の記録、ポイント機能等が搭載されたアプリで、特に動き盛り世代の健康課題である運動不足についての改善を目指す
70	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	がん検診受診率	年間	↑	18.8%	22.0%	19.3%	18.9%	19.8%	90.0%	②80%以上	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、受診率が減少傾向だったが、回復しつつある。しかし、目標値にはまだ届かない。 令和5年度より健診案内を見直し、令和6年度からは胃内視鏡検査の導入及び胃がん検診受診対象者の見直し等を実施した。	令和6年度より胃がん検診の対象者変更や胃内視鏡検査の導入等をしており、その影響等について確認していく。 引き続き、受診率向上に向けて、広報・勧奨方法・精密検査精度管理の見直しを行っていく。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
71	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	保健の推進	市民・国保課	特定健康診査受診率	年間	↑	34.6%	60.0%	33.2%	33.5%	34.6%	57.7%	③50%以上	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行った。新型コロナウイルス感染症は一定落ち着き、コロナ前の状況に戻ったが、受診率は低迷しているため、受診率向上に向けた取組を行う必要がある。	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行う。また、かかりつけ医との連携した受診啓発の検討を行う。健診予約システムの導入により受診率の向上を図る。
72	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	保健の推進	市民・国保課	国民健康保険料収納率	年間	↑	96.57%	97.00%	97.52%	97.47%	96.43%	99.4%	②80%以上	納付書送付時に口座振替推進チラシ及び口座振替依頼書を同封し、広報紙やホームページへの掲載等により積極的に口座振替の推進を図っている。また、納期に振替不能となった場合は、通知の上、再振替処理をするなど、確実な納付を図った。11年ぶりに保険料を引上げたことや後期高齢者医療制度への移行により年金天引き者が減少したこともあり、 <u>収納率は昨年度より</u> 申込みがなかったため、実績なし。	引き続き、口座振替の推進とコンビニ納付の活用により、確実な納付となるよう納付環境を整えるとともに、きめ細やかな納付相談を行う。また、京都府地方税機構と連携を密にし、収納率向上を図る。
73	4 環境をととのえ 健康のあふれるまち	医療体制の充実	保健推進課	奨学金貸与人数（医師）	5 か年累計	↑	4人 (H27～R元)	5人	0人	0人	0人	0.0%	④50%未満		今後も奨学金制度のPRを行い、医師確保に努める。
74	5 産業をおこし 豊かな暮らしのある まち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	京力農場プラン策定集落数	累計	↑	41集落	47集落	51集落	51集落	51集落	108.5%	①100%以上	これまで地域主体で策定していた「京力農場プラン」が、令和5年4月の農業経営基盤強化促進法改正により、令和6年度末に市が「地域計画」を策定した。そのため、京力農場プラン策定のための具体的な取組なし。	令和6年度末の地域計画策定からは「地域計画として」引き続き地元協議を実施し、目標地図の位置付けや担う者一覧を見直し、地域計画のブラッシュアップ及び実現に努める。
75	5 産業をおこし 豊かな暮らしのある まち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	認定農業者数（個人・法人）	年間	↑	48経営体	55経営体	49経営体	52経営体	55経営体	100.0%	①100%以上	新規認定が3件あり、増加となった。 (内訳) ・個人2 経営体 ・法人（広域認定）1 経営体	補助制度を活用する場合、認定農業者であると補助率が優遇されたり、認定農業者でないと活用できない補助制度もある。綾部市独自の認定農業者限定の事業も活用しながら、認定されるメリットを丁寧に説明し目標達成に繋げる。
76	5 産業をおこし 豊かな暮らしのある まち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	新規就農者数（支援事業活用分）	累計	↑	66人	73人	68人	68人	69人	94.5%	②80%以上	令和5年度中から関係機関と連携して準備を進めた結果、令和6年度から1人、研修を開始することができた。	新規就農の相談は継続的にあるものの、制度を活用して行政の支援が必要となる新規就農相談は少ない。令和8年度に向けて候補者は3人いるが、この他にも状況に応じて制度活用を検討していく。
77	5 産業をおこし 豊かな暮らしのある まち	農林業・内水面漁業の振興	林政課	有害鳥獣被害面積	年間	↓	2,356a	1,154a	2,714a	1,949a	2,705a	42.7%	④50%未満	侵入防止柵の整備は進んでいるが、未整備地区においての被害や、令和6年度はイノシシやクマによる農作物被害が増加した。	侵入防止柵の新規整備とともに耐用年数が切れた侵入防止柵の更新を進める。また、侵入防止柵による防除と併せ、有害鳥獣の捕獲により、被害面積の削減に務める。
78	5 産業をおこし 豊かな暮らしのある まち	農林業・内水面漁業の振興	林政課	森林経営管理権集積計画	累計	↑	0団地	6団地	2団地	2団地	2団地	33.3%	④50%未満	1地区で集積計画案を策定したが、所有者全員の同意取得に時間がかかることに加え新たな相続人の探索に時間がかかったため、数値増加はない。	集積計画の同意取得のハードルが高いことから、近年では経営管理制度によらない手法での森林整備にシフトをし森林集約の速度が上がったため、今後はその両方を活用しながら森林整備を進めていく。
79	5 産業をおこし 豊かな暮らしのある まち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	空き店舗活用支援事業支援件数	累計	↑	4店	10店	6店	10店	14店	140.0%	①100%以上	8件の出店を綾部商工会議所との連携により支援できた（新規4件、継続4件）。	引き続き綾部商工会議所との連携に努め、制度のPRを図る。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
80	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	チャレンジショッ ップ支援事業費補助金交付 件数	累計	↑	45店	59店	57店	61店	62店	105.1%	①100%以上	1件（サービス業）に対し補助金を交付すると ともに、商工団体への加入促進を図った。	引き続き、綾部商工会議所や地区商工繁栄会等との連携に 努め、制度のPRを図る。
81	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	（一社）綾部工業研修所卒業者数	累計	↑	1,750人	2,030人	1,839人	1,874人	1,904人	93.8%	②80%以上	企業訪問等の際に綾部工業研修所の受講を案内 し、基礎コースは24人が卒業。また上級コース では6人が修了し、修了者は84人となった。	周知に努め、受講者数の増加に繋げる。
82	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	北部産業創造センター内の機械貸付件数 （市内企業）	年間	↑	356件	460件	404件	364件	281件	61.1%	③50%以上	企業訪問等の際に周知に努めたが貸付件数は減 少した。	引き続き北部産業創造センターのPRを行い、更なる利用促 進を図る。
83	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	事業所実態調査総売上額	年間	↑	1,434億円	1,580億円	1,738億円	2,253億円	1,530億円	96.8%	②80%以上	製造出荷額等の増加を図るため、生産体制の強 化や設備導入に対応する補助金等の周知に努め た。	今後も国等の補助制度等の利用促進や支援に努めていく。
84	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	商工業の振興と 雇用促進	商工労政課	ふるさと就職支援情報発信事業提供者数	累計	↑	598人	750人	705人	737人	767人	102.3%	①100%以上	綾部市雇用促進連絡会議や定住・地域政策課と 連携し、就職希望者や移住希望者への登録促進 を図った。	引き続き、綾部市雇用促進連絡会議や定住・地域政策課と の連携に努め、制度の登録促進を図り、就職フェア、イン ターンシップ等の情報を発信する。
85	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	観光交流課	日帰り観光客数	年間	↑	548,813人	560,000人	437,254人	464,117人	445,376人	79.5%	③50%以上	令和5年中に閉店した施設の影響が大きく、入 込客数が減少した。また、花がメインの観光地 点では、開花状況や天候の影響を受け、入込客 数が伸び悩んだ。一方で取材やメディアに取り 上げられた施設では、昨年の入込客数を上回っ た。	観光誘客をコロナ禍前の水準に戻すべく、森の京都DMOや 海の京都DMOと連携しながら、情報発信に努める。また、 自然の中で楽しめるカヌーやサイクリングを始めとしたレ ジャー・スポーツ、京都丹波高原国定公園の展覧デッキや 整備を行ったあやべ温泉のキャンプ場などをアピールポイ ントとして強化する。
86	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	観光交流課	宿泊観光客数	年間	↑	50,230人	58,500人	42,358人	43,338人	43,433人	74.2%	③50%以上	あやべ温泉の宿泊部門休止の影響が大きかった ものの、簡易宿泊所では2,316人（前年比 145.2%）と大幅に増加した。全体での宿泊客は 微増となった。	農家民宿等の宿泊施設や里山交流研修センターの利用拡大 をはじめとした宿泊客の獲得へ向けて、森の京都DMOや海 の京都DMO等と連携しながらプロモーション活動や情報発 信の強化に努める。
87	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	定住・地域政策課	水源の里指定集落における都市交流人口	年間	↑	20,912人	28,800人	5,877人	8,971人	6,771人	23.5%	④50%未満	各集落や協議会において、地元の方や大学生、 ボランティアとともに農村都市交流イベントを 実施した。特にシャガ・ミツマタ群生地に来場 者減少により、目標値には届かなかった。	地元や他団体の協力も得ながら農村都市交流を推進する。 また、水源の里集落数の増加に努め、イベント実施数の増 加に繋げる等、水源の里集落や協議会が実施する都市交流 事業・合同イベント等による交流人口の更なる増加を図 る。
88	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	観光交流課	里山ねっと・あやべ交流事業参加者数	年間	↑	2,775人	7,000人	230人	1,914人	2,759人	39.4%	④50%未満	子ども夏まつり（マルシェ）や初開催のカブト 虫相撲大会など、工夫を凝らしてさまざまな事 業を展開した。里山交流大学の参加者、イベン ト参加者ともに増え交流人口の増加につなが った。	里山交流研修センターで行う体験・交流事業を推進し、近 隣住民や農家民宿と連携した魅力ある都市農村交流事業を 展開していく。地域おこし協力隊の活用も視野に入れなが ら、地域との連携を密にし、関係人口増加につながる事業 を展開する。
89	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	観光と交流の推進	企画政策課	あやべ特別市民制度登録者数		↑	1,858人	2,000人	1,613人	1,565人	1,451人	72.6%	③50%以上	特産品の発送や広報紙などの情報発信により、 会員に本市の良さを広くPRするとともに、「ふ るさと綾部の応援団」として更なる応援者の拡 大を図るため、機会あるごとに募集チラシを配 布するなどした。	現在既に実施している事業をベースに、制度趣旨に鑑みた 制度の充実化方を庁内で連携しながら検討し、取組の充 実、拡大を目指す。
90	5産業をおこし 豊かなくらしのある まち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	定住世帯数（定住サポート総合窓口扱い）	累計	↑	242世帯	360世帯	350世帯	386世帯	413世帯	114.7%	①100%以上	定住実績が27世帯51人となり、昨年度に比べ ると世帯数、人数ともに減少した。 京都市に開設している「あやべ定住サポート京 都サテライト店」での職員が出向く出張相談、 特産品等の物品販売をするあやべ市（いち）、 移住定住関連セミナー「田舎生活実践塾」を継 続して実施した。	目標とする世帯数は達成しているが、さらに定住者が増え るよう、継続して物件紹介や市内外へのPRを実施する。京 都サテライト店での取組を継続して実施し、定住者の獲得 を図る。



第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
91	5産業をおこし 豊かな暮らしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	こころへのことつたえ隊隊員数	累計	↑	25人	110人	38人	43人	43人	39.1%	④50%未満	定期的にリーダー会議を開催し、意見交換や移住・定住者獲得に向けた手法を検討した。	こころへのことつたえ隊員拡大のPRや、隊員と協力し、新たな情報発信の促進に取り組む。
92	5産業をおこし 豊かな暮らしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	水源の里への定住世帯数	累計	↑	29世帯	41世帯	41世帯	46世帯	55世帯	134.1%	①100%以上	交流人口の増加に向けた取組を行ったとともに、ホームページやSNS等の刷新を行い、情報発信の頻度を上げ、より水源の里について知っていただけるよう魅力の発信を行った。 令和6年度：9世帯	引き続き、水源の里集落の対象集落へ指定を受けていただくよう周知を図るとともに、空き家の登録を促す。
93	5産業をおこし 豊かな暮らしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	水源の里指定集落数	累計	↑	17集落	23集落	20集落	20集落	21集落	91.3%	②80%以上	水源の里指定集落活性化事業などに対し補助金を交付するとともに人的支援を行った。また、新たに1集落の指定に繋がった。	引き続き、水源の里集落の指定を促進するとともに、集落の定住促進と活性化を支援していく。
94	5産業をおこし 豊かな暮らしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	市民駅伝参加登録チーム数		↑	127チーム	130チーム	89チーム	89チーム	89チーム	68.5%	③50%以上	多くのチームに参加いただいており、健康増進と競技力の向上、また市民相互の親睦と交流を深める場として成果を挙げた。また40回記念大会として実施した。	継続して実施し、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進する。
95	5産業をおこし 豊かな暮らしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	二王門登山レース参加登録者数		↑	834人	850人	342人	493人	465人	54.7%	③50%以上	30回を記念し、今後の参加者増加を呼びかけるために部門の一部見直しを行い、年齢区分を細分化した。天候にも恵まれ、特に大きな事故等なく終了することができた。	継続して実施し、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進する。
96	5産業をおこし 豊かな暮らしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ少年団加入率		↑	19.9%	20.0%	16.5%	12.1%	12.1%	60.5%	③50%以上	体力テスト会、全県交流大会(指導者研修会兼ねる)を実施するとともに、スポーツ少年団に関するチラシを配布するなど団員拡充事業も行った。	少子化の影響はあるが、積極的支援により、団員数の現状維持を目指す。
97	5産業をおこし 豊かな暮らしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ施設利用者数	年間	↑	158,911人	206,000人	196,205人	242,152人	241,023人	117.0%	①100%以上	施設管理者と連携を密にし、施設の健全な維持管理と利用促進、利用者サービスの向上に取り組んだ。	施設の適正管理に努め、より利用しやすい施設となるようにするとともに、管理者と連携し各種大会の誘致を図る。
98	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	都市建築課	地籍調査完了面積	累計	↑	11.41km <sup>2</sup>	11.98km <sup>2</sup>	11.71km <sup>2</sup>	11.71km <sup>2</sup>	11.71km <sup>2</sup>	97.7%	②80%以上	青野Ⅱ地区(0.27km <sup>2</sup> )について地籍簿の作成と閲覧を実施した。また、位田Ⅰ地区に着手し、地籍図、調査図の作成を実施した。	青野Ⅱ地区は、法務局への登記作業を開始。位田Ⅰ地区については、現地確認を実施する。
99	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	定住・地域政策課	あやべ桜が丘団地販売区画数（R6）	累計	↑	432区画	456区画	442区画	442区画	444区画	97.4%	②80%以上	令和6年度の販売実績は2件。 販売促進のため2か月に一回フリーペーパーへの広告記事を掲載、FMいかるでスポットCM、また、市内外の企業まわりなど、PR活動を行った。 あやべ桜が丘ハウスパーク運営協議会を実施し、家電プレゼントキャンペーンを継続実施した。	あやべ桜が丘ハウスパーク運営協議会と協力しながら、販売促進に努める。 また、綾部市内、近隣市町の企業まわりなど、PR活動に努める。
100	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	都市建築課	借上型市営住宅の整備戸数	累計	↑	34戸	90戸	56戸	76戸	84戸	93.3%	②80%以上	1棟8戸の整備を実施（累計84戸）	借上住宅の入居者募集に伴う応募者数及び住み替え希望者の状況を確認する中で、必要戸数の見直しを行い、需要に即した供給を確保しつつ住宅の更新を進めていく。
101	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	道路・公園の整備	建設課	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋りょう補修数	累計	↑	7橋	27橋	19橋	19橋	21橋	77.8%	③50%以上	Ⅲ判定橋梁の補修工事を実施（館ノ内1号橋） Ⅳ判定橋梁の撤去設計を実施（物部大橋）	道路橋定期点検の結果により判定区分の高い橋梁について計画的に工事を行う。
102	6計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	道路・公園の整備	都市建築課	公園施設長寿命化計画に基づく都市公園遊具更新率	累計	↑	35.6%	59.3%	61.0%	64.4%	67.8%	114.3%	①100%以上	下記の遊具を更新（または撤去） ・ 八幡児童公園：ブランコ更新1基 ・ 上延第2公園：アーツリング塗装工1基、ジャングルジム撤去1基	計画に沿った遊具の更新を継続。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表

※集計区分に記載のないものは、年度末の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の 方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	R4実績	R5 実績	①R6 実績	R6 達成率	R6 達成区分	②R6実績分析・評価及び 具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための 今後の取組の方向性
103	6 計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	市民協働課	あやバス乗車人数	年間	↑	197,412人	205,000人	165,983人	165,617人	175,149人	85.4%	②80%以上	あやバス利用者に対し、市メルマガやFacebook、LINE、FMいかる等の様々な情報ツールを活用し情報の発信・提供を行い利用促進を図り、令和6年10月には、あやバス累計乗車数400万人を突破した。 また、京都大学大学院の学術指導により、利用促進や令和9年4月のダイヤ改正等に向けた助言を受け、ダイヤやルートの見直しを図るとともに、綾部駅北口等のバス停の新設や中学生以下の運賃無料化を実施する等、多くの人が利用しやすいバス環境の整備に努めた。	引き続き、こまめな情報発信や利用促進策の企画・運営に努めるとともに、国庫補助金を活用したあやバス乗降調査を実施し、利用者等の声を聞きながら安定的な運行の確保と利便性の向上を図り、乗車増を目指す。 また、令和7年4月にあやバス運行20周年を迎えるにあたり、あやバスの歴史等を学ぶとともに、将来の公共交通について考える場として、あやベ公共交通シンポジウムを開催する。 今後は、枝線等を含む現行路線の見直しにより、あやバスの運行効率を向上させるとともに、健全な運行体制を整え、持続可能な公共交通サービスを提供するためのガイドラインを策定し、さらなる利便性の向上を図る。
104	6 計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	市民協働課	鉄道利用通学費補助金利用者数	年間	↑	59人	70人	30人	25人	29人	41.4%	④50%未満	綾部市在住で、JR、京都丹後鉄道を利用して大学、短期大学、専門学校等へ通学する学生に対し、通学費として定期券購入代金の3割の補助を行った。	高等学校への説明やチラシの配布により制度の周知を図るとともに、利用者アンケート等でニーズ調査により利用しやすい内容を検討し、利用促進に努める。
105	6 計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	都市建築課	パーク＆レール利用件数	年間	↑	13,475件	14,000件	事業廃止	事業廃止	事業廃止	対象外	対象外		
106	6 計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	上水道課	水道普及率		↑	98.5%	98.8%	98.6%	98.7%	98.7%	99.9%	②80%以上	懸案事項である点在する奥上林の一部地区の未普及地については、地元の整備要望等の状況から、未普及地解消に向けた事業の着手には至らず、水道普及率の改善にはならなかったが、令和5年度に、未普及地を対象に飲用井戸等の整備に対する補助金を整備した。	引き続き水道未普及地解消に向け、対策について検討していく。
107	6 計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	上水道課	上水道管布設替え延長	年間	↑	988m	2,000m	1,995m	2,211m	1,446m	72.3%	③50%以上	配水施設改良工事および公共下水道関連工事により、配水管の布設替えを行った。令和6年度における総布設延長（新設および布設替えを含めた総布設延長）の実績は1,889mで、布設替え延長については1,446mとなった。	年間2,000mの布設替え工事を計画し、5か年で全体事業量10,000mの布設替えを目標に事業を実施する。
108	6 計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	下水道課	汚水処理人口普及率		↑	83.9%	85.2%	86.0%	86.7%	87.3%	102.5%	①100%以上	公共下水道整備は年次計画に基づき、計画的に事業実施できた。また、浄化槽整備では広報等により募集を行い汚水処理人口普及率の向上に努めた。	引き続き、公共下水道整備、浄化槽整備を計画的に事業実施していく。
109	6 計画を定め 輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	下水道課	水洗化率		↑	74.8%	76.4%	77.4%	78.1%	78.7%	103.0%	①100%以上	公共下水道整備は年次計画に基づき、計画的に事業実施できた。また、未接続者へのアンケート実施や、浄化槽整備では広報等により募集を行った。さらに、住民税非課税世帯を対象とした綾部市下水道接続補助金の啓発を行い、水洗化の向上に努めた。	引き続き、公共下水道整備、浄化槽整備を計画的に事業実施していく。